



第2回会議まとめ

課題解決検討シート 託児費用補助

	課題	改善点
1.周知方法	・子育て世帯へ情報が届いていない。	・子育てガイドブックに制度内容を掲載する。 ・広報誌の公募委員募集の枠に制度内容について案内し、毎回市民の目に入るようにする。 <u>幅広い世代への周知が可能に！</u> ・子育て関連施設、各商業施設、病院などにチラシを配布。 ・企業に、産休・育休に入る方へ周知してもらえよう協力を依頼。 (育休中に市民参加を経験する。) ・市ホームページにチラシを掲載。 ・Instagramの活用。 ・口コミのほか、託児利用者の感想をロールモデルとして紹介。
2.周知内容	・託児＝女性というイメージが強い。 - 男性も含めた子育て世帯が利用可能であることを周知できていない。	・子どもの世話をしている人という枠が広がるように「保護者」と表記し、案内する。



第 2 回会議まとめ

課題解決検討シート 託児費用補助

	課題	改善点
3.制度内容	・ 託児施設への送迎の負担 ・ 多子世帯には厳しい補助上限 ・ 託児施設を利用者自身で探すことの大きな負担	・ 市役所内の一室で託児を可能に。 ・ オンラインでの会議参加も可能に。 (託児も不要になる) ・ 上限額を 1 回あたり 5,000 円ではなく、子 1 人あたり 5,000 円にする。 ・ 託児施設を登録制とし、託児施設リストから選択できる仕組みをつくる。